



国労西日本本部は、9月25日に第34回定期西日本本部大会を国労大阪会館において開催した。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面審議に

労働条件改善と安全確保へ

組織の多数派にむけて、全組合員が総団結し奮闘しよう

第34回西日本本部大会決定にもとづき

よる開催を行った。各級機関の協力のもと各地方から寄せられた代議員の発言を集約し、この困難な状況を乗り越え国労の更なる発展をめざし、①. 闘争指令1号の継続を再確認し、組織拡大全国統一行動に全力を挙げ、拡大目標をやりきる、②. 風通しのよい明るい職場作りと、労働者の人権と職場の民主化をめざすと共に、労働条件改善と安全確保に向けた「職場総点検」「安全総点検」の取組みと契約社員の正社員化を求める闘い、

安全を守る 職場風土へ 変える先頭に

③. 2021年春闘では、JR各社の「格差」是正を求めるとともに、職場要求の前進、働くルールの確立や社会保障制度の充実、憲法改悪等に反対する闘いを広範な仲間と共に作り上げる、④. 安倍政権の暴走政治を継承・推進する菅自公政権に対し、市民と野党共闘での前進面をさらに大きくし、平和と民主主義を守り、国民本位の政治を実現させるための運動と取り組みの強化をはかる、等の方針と新たな執行部を確立した。

福知山線事故、伯備線保線係員死傷事故を教訓とし、ローカル線の廃止問題や労災事故、貨物会社では黒字化継続、株式市場に向けて賃金削減・人件費削減の攻撃が続く中、国労運動の真価が問われている。職場では青年労働者が多数になっていくもとで、確実に要求の多数派から組織の多数派にむけて、全組合員が総団結し奮闘しなければ



国労西日本

国労西日本本部

NO. 299

発行責任者 森田 文一
編集責任者 片岡 有宏

国労西日本HP



国労西日本 検索

2020年度執行部任務分担

役職	氏名	任務分担
執行委員長	森田文一	総括、総務、法対
執行副委員長	藤野能章	業務総括
執行副委員長	中野健二	財政部長、共闘部長
書記長	植田重信	企画部長、家族会
執行委員	倉下文明	組織、業務
執行委員	片岡有宏	教宣部長、業務
執行委員	新田敏雄	業務部長
執行委員	中本博次	調査・福祉対策部長、業務
執行委員	大和忠昭	貨物担当部長、組織
執行委員	大北真也	組織部長、業務

ならない。
職場・地域において労働者・国民諸階層と固く団結し運動を展開させる立場から、西日本本部は大会終了後第1回執行委員会を開催し、当面する重要課題の前進のため決定された運動方針に基づく闘いを実践する執行部の任務分担を決定した。

西日本本部執行委員会以上
の立場で全力をあげて奮闘することを決意した。

これからの医療の進歩を見据え、「生きるためのがん保険」を新しくします。

アフラックは **がん保険契約件数 No.1**

アフラック **生きるためのがん保険 Days 1**

アフラック **生きるためのがん保険 Days 1プラス**

アベニール株式会社
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

アフラック
「生きる」を創る。
東京第二法人営業部
東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル15F
TEL.03-3344-1429 FAX.03-3344-2658

第34回定期大会書記長集約要旨

【組織拡大・強化について】

「最重要課題」と位置づけ、本部闘争指令1号に基づき「組織拡大の意義と重要性」について確認し継続をしているところです。この1年間で5名の仲間を迎え入れることが出来ました。

安全確保のための必須条件である明るく働きやすい職場作りと、労働者の人権と職場の民主化をめざした運動を強化していきたい。職場の中心になること、職場改善の取り組みや団体交渉、仕事や日常の世話役活動を通して国労組織・組合員が職場の中心になることあります。引き続き組織強化・拡大、職場の民主化に向け奮闘・前進をめざしていきたくと考えます。

【安全・安心な鉄道・公共交通を守る闘いについて】

「触車・感電・墜落」での事故が相次いで発生をしました。事故の背景は、人件費・コスト削減であり委託化・外注化施策、教育の不十分さ・技術の不足と安全に対する配慮が薄れているところが要因です。私たちは、誰もが安全で安心の鉄道と安心して働き続けられる職場環境、社員が働きやすい状況を作り出すために労働者・労働組合の権利を守る闘いを一体のものとして一層強化を図ることが重要であります。

「駅合理化対策会議」での共通する課題として、①安全・安心な駅、②利用しやすい駅、働きやすい駅を柱に今後進めてい

きたい。「人でしか出来ない業務、人でしか守れない安全・安心」の追求が根源です。組合員の力を結集して運動を進め、全国単一組織の優位性を発揮して、真の鉄道と安全・安心を守るために奮闘を申したい。

三江線が廃止され、更なるローカル線のバス等への転換等や北海道での安全軽視の無責任な一方的な廃止ありきは許されるものではないと考えます。地域経済と暮らしを支えてきた鉄道こそ社会的な存在価値があり、持続可能な公共交通への政策転換こそ図らなければなりません。

【21年春闘について】

雇用、社会保障、教育、平和、憲法などあらゆる分野における国民的課題での闘いを強化し、職場・地域から21年春闘を真の国民春闘とするため全ての国民との共闘を強化していく。

特に、JRの非正規雇用の解消、希望する契約社員の正社員化に向け奮闘する。21春闘は労働分配率の改善を求めると同時に生活困窮せずに誰もが安心して働き暮らせる賃金・生活の底上げを求めることが重要です。コロナ感染症の感染リスクと隣り合わせの中で日夜を問わず日々懸命に働いているすべての社員に手当の支給やPCR検査の拡充を求め安心して働ける環境を求めていきます。

「一職場一要求」運動を柱に、労働条件改善を勝ち取る職場活動・分会活動を活性化させ、大

衆行動を展開し要求獲得と組織拡大をめざし、「労働者に見える春闘」を進めて行きたい。そして地域で闘う仲間としっかり連帯する地域春闘の構築をめざす。いつでもどこでも闘えるストライキ体制の確立。全ての職場で立ち上げられる意思統一を早い段階で各機関において行って頂きたい。

【政治革新、憲法改悪阻止、平和と民主主義を守る闘い】

安倍首相は辞任し、菅内閣が発足しました。就任会見では、「自助、共助、公助」を語りコロナ禍のもとで苦境にあえぐ国民に対し自己責任を押し付け、国による支援は後回しにする考えを示し、外交では「日米同盟を軸に政策を展開する」と強調しています。改憲阻止、憲法改悪を許さない国民的闘いに全力を上げると共に消費税増税中止、原発ゼロ、再生可能エネルギーへの転換、米軍基地反対など世論と運動を大きくしなければなりません。

そして、予想される総選挙では安倍政権の継承をうたう菅政権を追い込み、国民本位の政治を取り戻すために、市民と野党の共闘の輪を大きくし、政治革新実現、憲法改悪阻止、核廃絶・核兵器禁止の恒久平和、自衛隊の海外派兵反対、米軍基地即時撤廃など平和と民主主義を守る取り組みの先頭に立つとともに、西日本本部は精一杯闘うことを決意し、集約とさせて頂きます。

大会宣言

私たちは本日、国労大阪会館において第三四回定期西日本本部大会を開催し、この一年間の闘いの総括と安全輸送の確立、労働条件改善、組織強化・拡大、二〇二一年春闘勝利、平和と民主主義を守る闘い、憲法改悪阻止など、向こう一年間の闘う方針を確立した。安倍首相は辞任したが、この間、憲法をないがしろにして、集団的自衛権行使容認を閣議決定、安保法制など数々の違憲立法を強行成立させた。また、内閣人事局を発足させ官僚の「忖度」をはびこらせ、「森友・加計」疑惑の解明に背向け「桜を見る会」など政治を私物化してきた。二度にわたる消費税増税にコロナ感染拡大が追い打ちをかけることにより、国民生活と経済に大打撃を与えている。新しく発足した菅内閣は、安倍暴走政治を継承・推進するとしており、さらに「自助・共助・公助」をモットーにし、コロナ禍で破綻が明らかとなった「新自由主義路線」をさらに推し進めようとしている。私たちは、菅自公政権の暴走を許さない闘いをすべての国民や民主団体とさらに前進させなければならない。

福知山線脱線事故から一五年が経過し、「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2022」が三年目を迎えている。「福知山線脱線事故」「新幹線重大インシデント」を教訓とし、西日本会社の安全軽視の姿勢の転換を求めなければならない。駅の無人化・列車のワンマン化の増大は、利用者の安全・サービス、生命・財産を脅かすものとなっている。同時に、業務委託・外注化が拡大するなか、死亡労災事故の発生、部内原因等による輸送障害が目撃値より増えている。事故の要因を明らかにし、関連労働者を含めた労働条件改善、安全に必要な要員確保、技術継承や教育の充実などを求めて引き続き運動を強化しなければならない。

西日本会社は、2020年度の通期業績見通しの発表に先立って「年間臨給の見直し」を提案してきた。会社は、コロナ感染リスクの中で安全安心輸送のために日々懸命に頑張っている社員の努力に報いるべきである。私たちは、雇用の完全確保と社員の生活を守るため、利益剰余金を切り崩しても社員の生活に十分配慮することを強く求めるものである。

貨物会社は、二〇一九年度決算では、増収・増益となったが、ベア二百円と超低額回答に続き、夏季手当でも一・七五ヶ月分の超低額回答を行うなど、労働者と家族を犠牲にした経営を続けている。貨物会社で働く全ての労働者があたりまえの生活を取り戻し、安心して働ける職場にするために、構造矛盾の抜本的な改善、新しい人事制度の検証、労働条件の改善などに向け全国単一組織の優位性を発揮し、引き続き客貨一体となった取り組みを強化していく。

この間、私たちは職場を基礎にすべての労働者の問題解決に全力で取り組み、職場でのつながりを深め、要求の前進を図ってきた。会社と他労組の動向を分析し共有化すると共に、日常の職場活動の強化を行うことが決定的に重要となっている。次世代への「国労運動」継承のため、全機関・全組合員が全ての職場で組織拡大に全力をあげよう。

私たちは、労働条件改善、安全・安心輸送の確立、組織強化・拡大、二〇二一年国民春闘勝利、希望する契約社員の正社員化、JALの不当解雇撤回、憲法改悪阻止、平和と民主主義を守る闘いと、来るべき解散総選挙勝利をめざし、全力を上げて闘い抜くものである。

右、宣言する。

二〇二〇年 九月二五日

国鉄労働組合西日本本部 第三四回定期大会